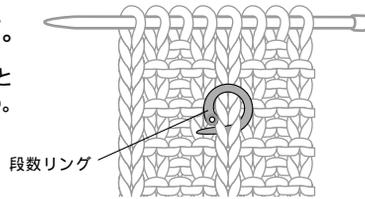




## 4. 10段ごとに段数リングをつけます。

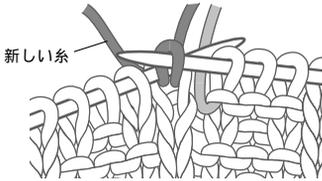
編めば編むほど、何度も段数を数え直すことになるので、10段ごとにしるしをつけましょう。



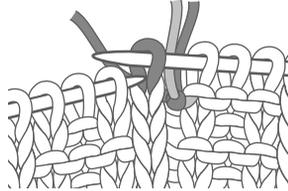
段数リング

## 5. 途中で糸がなくなったら新しい糸をつなぎ、糸端を始末します。

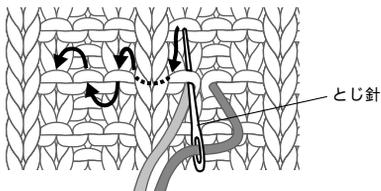
## 目の途中で糸をかえる方法



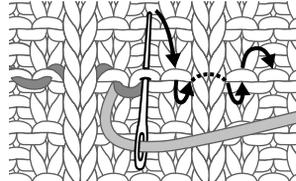
1 今までの糸端を裏にたらし、新しい糸で編みはじめます。



2 今までの糸と新しい糸の糸端は裏で仮結びしておきます。

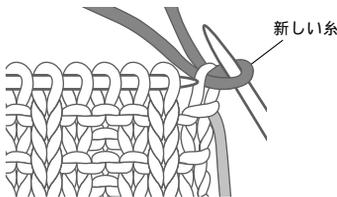


3 編み地を裏に返して仮結びした糸端をほどき、右の糸はとじ針で左の目をすくって始末します。

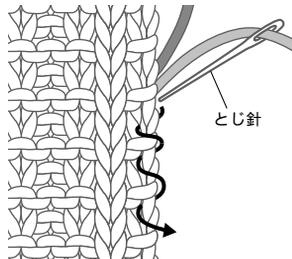


4 左の糸は3と同様に右の目をすくって通し、編み地の際で切ります。こうすると目立ちません。

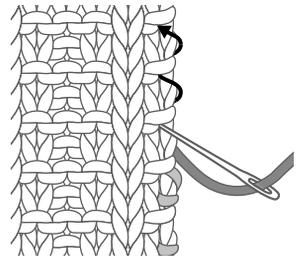
## 編み地の端で糸をかえる方法



1 新しい糸の端を約15cm残して新しい糸で編みはじめます。



2 下の糸端をとじ針に通し、編み地の下の端の半目にくらせていきます。



3 上の糸端も2と同じように目をすくって通し、編み地の際で切ります。こうすると目立ちません。

## 6. 伏せ止めをして完成です。

## ● 伏せ止め

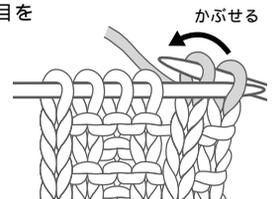


棒針編みの伏せ止めです。伏せ止めた目を「伏せ目」といいます。

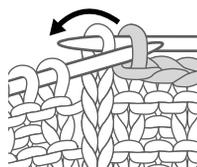
1 表目を2目編みます。



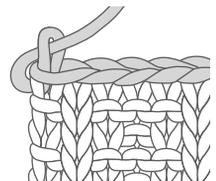
2 左の針で右の目をかぶせます。



3 「1目編んでかぶせる」をくり返します。



4 終わりは糸端を通して引きめます。



## クローバーのあみもの用品

段数リング「Q」  
24個入

編み目にしっかり止まり、付けはしもワンタッチ。



## ジャンボとじ針

目をすくいやすくするために針先を曲げています。毛糸の始末などの仕上げに必要です。

針先

